



2026年5月27日

各 位

会社名 株式会社エルテス
代表者名 代表取締役社長 菅原 貴弘
(コード番号：3967 東証グロース)
問合せ先 取締役経営戦略本部長 伊藤 豊
(TEL. 03-6550-9280)

(訂正)「通期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ」の 一部訂正に関するお知らせ

当社は、2026年4月14日付けに公表いたしました「通期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ」の記載事項の一部に訂正すべき事項がございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

「2026年2月期 決算短信[日本基準] (連結)」の発表後に訂正すべき事項が御座いましたので、それらに付随して「通期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ」を訂正させて頂くものであります。

2. 訂正の箇所

訂正前と訂正後の情報を記載し、訂正箇所には下線を付しております。

【訂正前】

1. 2026年2月期通期個別業績と前期実績値との差異 (2025年3月1日～2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	2,514	200	205	109	18.23
当期実績 (B)	2,744	313	295	<u>△42</u>	<u>△6.89</u>
増減額 (B) - (A)	230	113	90	<u>△152</u>	
増減率 (%)	9.2	<u>56.5</u>	43.9	<u>△138.4</u>	

(差異の理由)

営業秘密の持ち出し事件の発生などを追い風に、エンタープライズ向けのリカーリング収益中心の内部脅威検知サービス (IRI) において、サービス解約率が低い水準で推移したことに加えて、既存案件でのID追加が、事業拡大に貢献してまいりました。また、サービス原価や全社費用管理の徹底などにも取り組んでまいりました。この結果、売上高は堅調に推移し、営業利益、経常利益が前期実績値を大きく上回りました。

一方で、当期純利益は、以下に記載の子会社株式評価損 (415百万円) を特別損失として計上し、△42百万円の当期純損失となりました。

【訂正後】

1. 2026年2月期通期個別業績と前期実績値との差異 (2025年3月1日～2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	2,514	200	205	109	18.23
当期実績 (B)	2,744	313	295	<u>△30</u>	<u>△5.04</u>
増減額 (B) - (A)	230	113	90	<u>△140</u>	
増減率 (%)	9.2	<u>56.3</u>	43.9	<u>△128.1</u>	

(差異の理由)

営業秘密の持ち出し事件の発生などを追い風に、エンタープライズ向けのリカーリング収益中心の内部脅威検知サービス (IRI) において、サービス解約率が低い水準で推移したことに加えて、既存案件でのID追加が、事業拡大に貢献してまいりました。また、サービス原価や全社費用管理の徹底などにも取り組んでまいりました。この結果、売上高は堅調に推移し、営業利益、経常利益が前期実績値を大きく上回りました。

一方で、当期純利益は、以下に記載の子会社株式評価損 (415百万円) を特別損失として計上し、△30百万円の当期純損失となりました。

以 上